

令和6（2024）年度老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業

## 通いの場などの介護予防に資する取組の効果的な 普及啓発の手法に関する調査研究事業

---

# 報告会

### ー 通いの場参加促進の工夫ヒアリング調査より ー

---

厚生労働省 関東信越厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課  
一般社団法人 日本老年学的評価研究機構（JAGES機構）

2025年3月10日 14:00-15:00

ご参加ありがとうございます。  
報告会は14:00から始まります。  
時間まで少々お待ちください。

令和6（2024）年度老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業

## 通いの場などの介護予防に資する取組の効果的な 普及啓発の手法に関する調査研究事業

---

# 報告会

### ー 通いの場参加促進の工夫ヒアリング調査より ー

---

厚生労働省 関東信越厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課  
一般社団法人 日本老年学的評価研究機構（JAGES機構）

2025年3月10日 14:00-15:00

# 本日の内容

1. 関東信越厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課よりご挨拶  
課長 齊藤 康博 様
2. 「これからの通いの場」について  
一般社団法人 日本老年学的評価研究(JAGES)機構 理事  
千葉大学予防医学センター 健康まちづくり共同研究部門特任教授  
一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済  
研究機構 研究部長日本福祉大学客員教授  
近藤 克則
3. 通いの場参加促進の工夫ヒアリング調査結果報告  
一般社団法人 日本老年学的評価研究(JAGES)機構 事務局長  
藤並 祐馬
4. 事前質問へのご回答

## 事前質問へのご回答\_\_各自治体の参加促進の工夫一より

質問 1 : 退職後の特に男性を呼び込むツールや工夫についてご教示ください。

- ①コンテンツの工夫：飲酒付きサロン、おつまみ料理教室、グランドゴルフ、機材を使った体力測定、健康マージャン、野外での体操、体側側の機器の設置などが男性が興味を持ちやすい
- ②広報・アウトリーチの工夫：地域デビューなどのキャッチーな呼びかけ、シニアリーダーなど役割意識に訴える呼びかけ、ボランティアを地域のお仕事として呼びかけ、
- ③事業評価、モニタリングフィードバック：アンケート結果のフィードバック

質問 2 : 教室や既存の通いの場に参加したい方はそれなりにいるが、教室終了後に自分たちで団体(自主サークル)を立ち上げたり運営するのが嫌なので、不必要に事業対象者となりデイサービスに通う方が一定数いる。自分たちで団体を立ち上げるモチベーション方法を知りたい。また、全国共通の課題ではあるが、男性参加者が少ないので、男性が積極的に参加できる運営方法があれば教えてほしい。

- ①立ち上げ支援：講座の後のフォローアップと事あるごとにお誘い、行政の支援を具体的に伝える、期間限定の伴走支援、信頼感醸成、リハビリ専門課の立ち上げ支援、など
- ②事業理念と意思統一：、楽しいコンテンツで行きたい場となる
- ②行政主導の通いの場から段階的参加、多様な場への参加促進などを進める

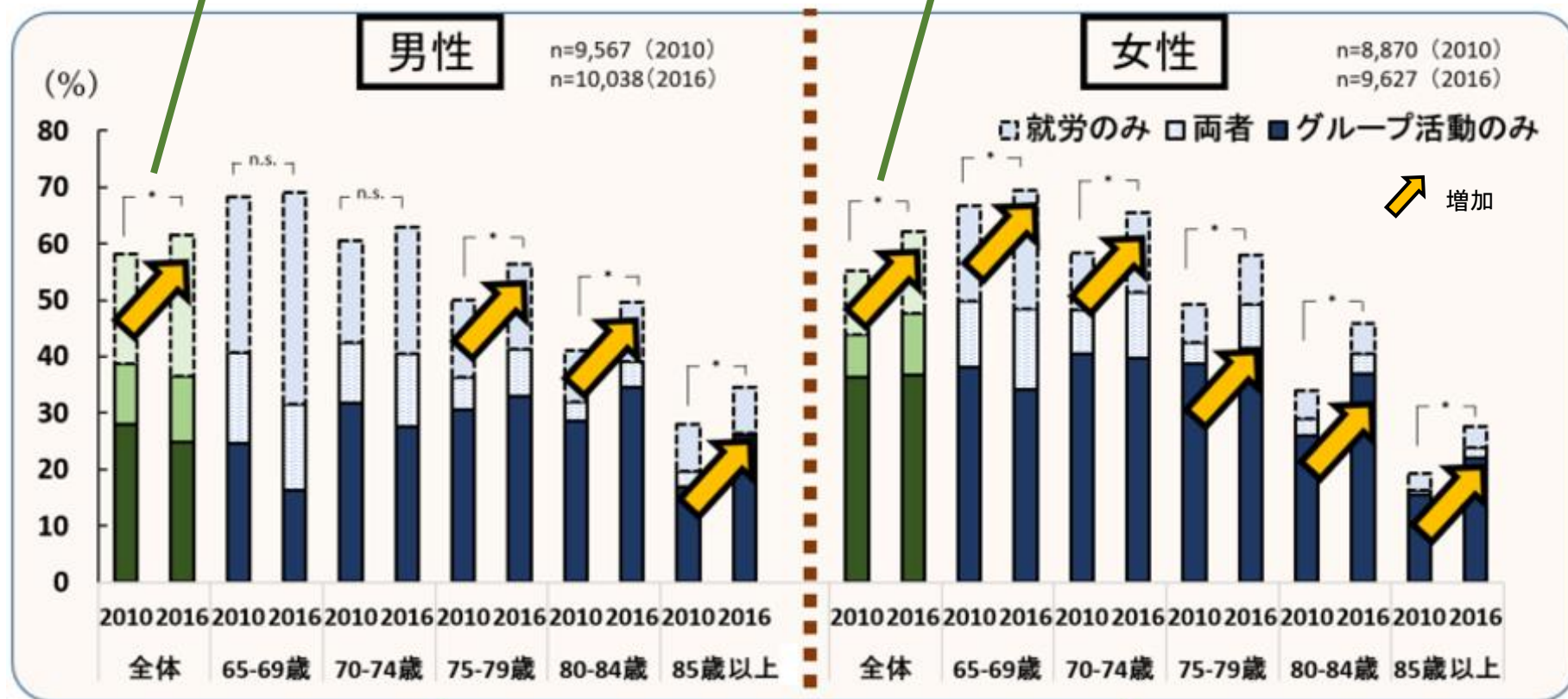
質問 3 : 分け隔てなく誰もが参加できる通いの場のために必要なことをお教えください。

- ①事業理念と意思統一：関係者が自分ごととして向き合う、参加資格や事業対象者の枠にとらわれずまずは参加することを大事にする、誰でもどれにでも参加できるという場の用意、訴えを放置しない、情報提供とセルフマネジメント
- ②事業連携・組織連携：関係者間の連携、地域の情報やニーズを吸い上げるシステム

# 社会参加（就労＋グループ活動） 割合変化

3.4%ポイント増加

7.0%ポイント増加



## 6年間で男女とも社会参加割合増加

社会参加：就労，グループ活動のいずれか一つ以上参加で参加あり

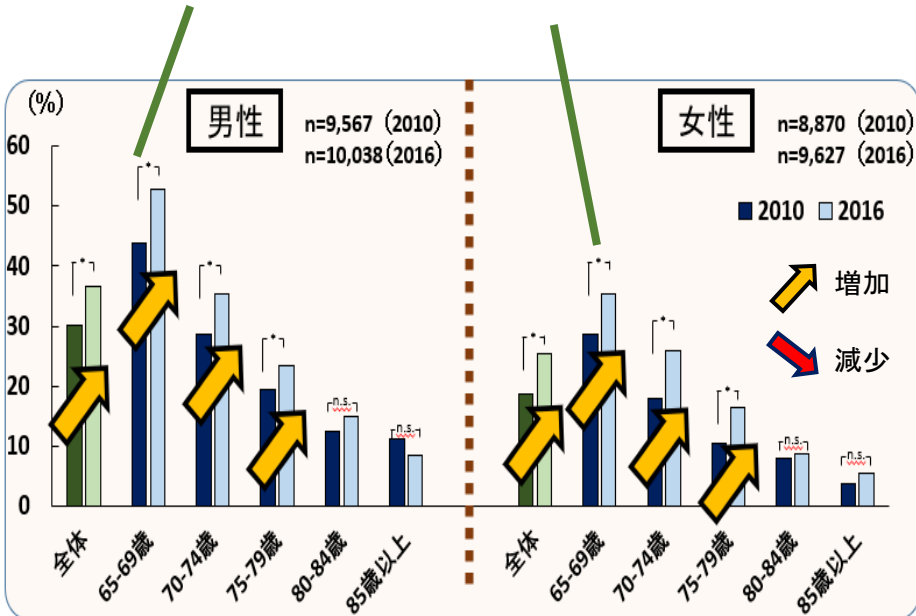
渡邊良太，辻大士，井手一茂，林尊弘，斎藤民，尾島俊之，近藤克則：地域在住高齢者における社会参加割合変化—JAGES6年間の繰り返し横断研究<sup>5</sup>，  
厚生労働省；68(3)；202103-01.

## 就労割合変化

65－69歳の割合

男性：9.0%ポイント増加

女性：6.6%ポイント増加



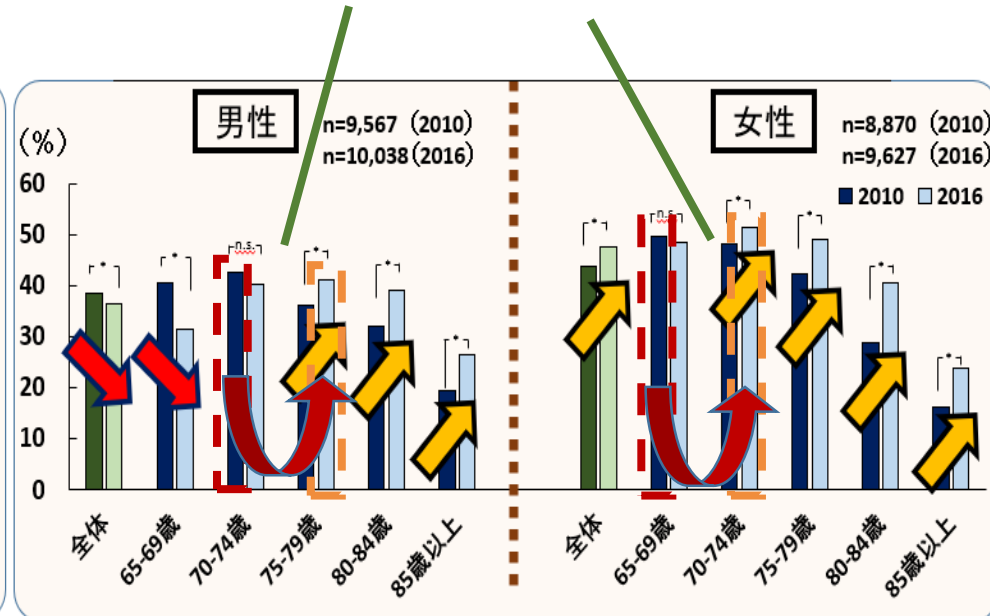
男女とも65－79歳で就労割合増加

## グループ活動割合変化

最も参加割合が高い年齢階層

男性：70－74歳→75－79歳

女性：65－69歳→70－74歳



男75歳、女70歳以上でグループ活動増加

グループ活動：ボランティア、スポーツ、趣味の会のいずれか一つでも月1回以上参加で参加あり



# 事業例③ 介護予防「あ・し・た」プロジェクト(大阪府堺市)



社会的課題	要介護認定率が国や大阪府の平均値よりも高く、特に軽度者の割合が高い
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護状態ではない高齢者の介護予防・自立支援を行うことにより、高齢者の生活の質を向上させる。</li> <li>介護給付費の適正化を図る</li> </ul>
事業対象者	市内在住の概ね65歳以上の高齢者のうち、主に要介護認定を受けていない人(普段介護予防の取組を行っていない、または介護予防の取組に無関心な人が望ましい)
成果指標【目標値】	① 事業参加者総数 【4,000 人】 ② 継続参加人数 【500 人】 ③ 要介護状態進行遅延人数 【500 人】
委託費	17,719 千円～ 44,297 千円 ※別途、効果検証委託費: 10,000 千円
事業期間	3年間(令和元年度～令和3年度) ※新型コロナの影響で令和4年度までに延長
受託者	阪急阪神ホールディングス・ライフデザイン阪急阪神事業グループ(阪急阪神ホールディングス株式会社、株式会社ライフデザイン阪急阪神によるコンソーシアム)
PFS事業効果	約118,840千円/年(介護給付費適正化効果)

委託費 900～  
1809万円/年

事業効果は  
約1億1884万円/年

## 【提供プログラム例】



男・本気のコーヒー教室

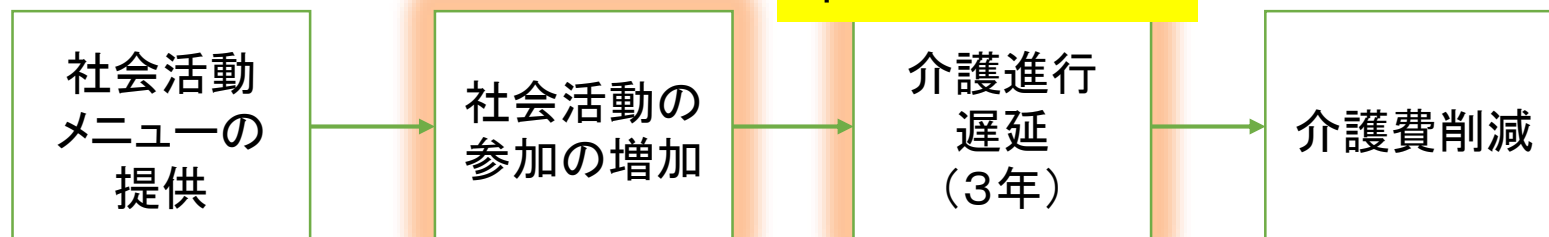


オトン・オカンのみんな元気チアダンス体験教室



身体と頭で地形を楽しむウォーキング

(出所) 堺市健康福祉局「堺市介護予防「あ・し・た」プロジェクト」の取組紹介



男・本気のパン教室



男・本気のコーヒー教室



男・本気の木工教室



撮影マイスター養成講座





第3期を見据えて、第1期・第2期で構築した施策モデルを地域で展開するためのパイロット事業を実施

1期  
R1～R4

2期  
R5～R7

3期  
R8～

## 第1期・2期の成果

■参加者

気づき

きっかけ  
イベント型



・あした  
・ウォー  
・あした

課題：

課題

■地域

据えて、  
心層を  
防プロ  
実施

■男性・前期高齢者などの従来の無関心層をひきつける多彩なプログラム

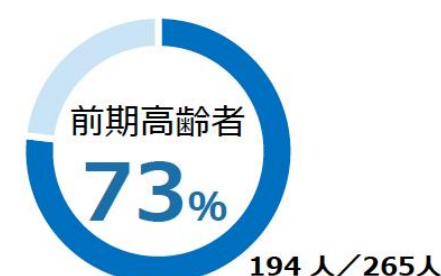
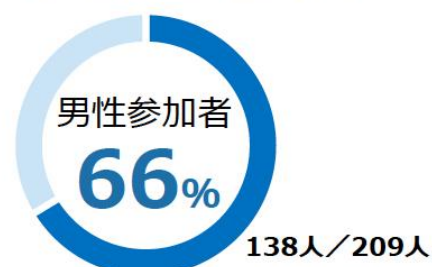
予防事業の

インパクト増

し・た」プロジェクトのノ  
ウを活用した介護予防  
を地域で展開  
づき「学び」「活躍」の  
人数増加  
輩の場」を通じた地域  
への介護予防の普及

従来の介護予防事業

「あ・し・た」プロジェクト



介護予防プログラム数

介護予防プログラム数

**3**種類

**12**種類

将来像

！全域に多様で魅力  
プログラムを実施する  
！主体の「通いの場」が  
！

# ニーズ調査

## 問5 地域での活動について

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい      2. 参加してもよい      3. 参加したくない      4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい      2. 参加してもよい      3. 参加したくない      4. 既に参加している

No	指標名	市町村名	今回	順位	色	前回	改善状況	変化	回答者数	中央値	最小値	最大値
47	重要:グループ活動へ参加意向がある者の割合		47.5	62	■				444	56.5	46.7	66.7
48	重要:グループ活動(企画・運営)へ参加意向がある者の割合		34.2	60	■				441	40.2	29.4	55.0

40.2%の人は企画・運営に、56.5%は参加者として、参加してもよいと思っている

本日の資料ダウンロード用URL

[https://www.jages.net/about\\_jages/report/](https://www.jages.net/about_jages/report/)